

様式4

令和元年度 政務活動費支払証明書

会派名: 社民党呉市議団

整理番号 21

代表者	経理責任者	支出年月日	区分	研修会議費・活動旅費
山上		令和元年10月21日	支払金額	71,980

(出張者) 山上 文恵

(出張先) 香川県高松市, 高知県高知市

(日程) 令和元年10月29日(火)~31日(木)

(用務内容) 視察: 高松丸亀町商店街について

研修: 第14回全国市議会議長会研究フォーラムin高知

(明細) ※一人当たりの金額

内 訳	金 額	算 出 基 礎
鉄道運賃	13,740 円	呉~高知 6,310円×2 宇多津~高松 560円×2
グリーン料金	11,200 円	広島~岡山2,800円×2, 宇多津~高知 2,800円, 高知~岡山2,800円
特急料金	8,440 円	広島~岡山(3,270円-530円)×2, 宇多津~ 高知(2,390円-530円), 高知~岡山(2,730 円-530円)÷2
急行料金	円	
車・船賃	円	
航空賃	円	
交通費 計	33,380 円	
日 当	9,000 円	3,000円×3日
宿泊料	29,600 円	14,800円×2泊
参加費	円	
合 計	71,980 円	

上記のとおり、支払ったことを証明します。

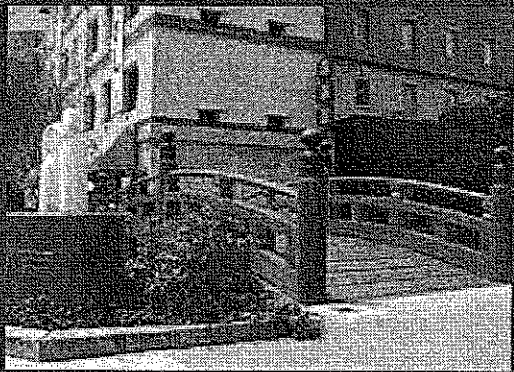
令和元年10月21日

会派の名称 社民党呉市議団

代表者の氏名 山上 文恵

大会テーマ
議会活性化のための

船中八策



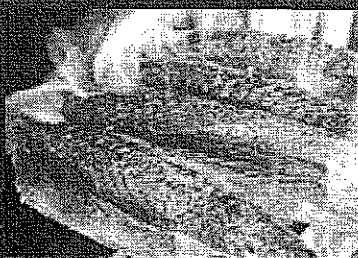
第14回

全国市議会議長会 研究フォーラム

令和元年 10月30日(水) ▶ 31日(木)
13:00~(開場・受付12:00~) 9:00~(開場8:30~)

高知ちばさんセンター

高知県高知市布師田3992-2



2,300名

7,000円

開催趣旨

地方分権改革の進展や地方創生の推進により、都市に対して基礎自治体としての役割が一層期待される中、市民の負託と信頼に的確に応えるべく議会の更なる機能向上策を研究することを目的とする。



議会活性化のための船中八策

プログラム

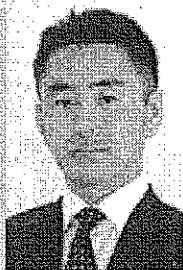
■第1日目 10月30日◎

12:00	開場・受付
13:00	開会式
13:20	第1部 基調講演 これからの経済・社会の変容と 地方政治家の態度(仮) 中島 岳志 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授
14:20	休憩
14:40	第2部 パネルディスカッション 議会活性化のための船中八策(仮) コーディネーター 坪井ゆづる 朝日新聞論説委員 高部 正男 市町村職員中央研修所学長 横田 響子 株式会社コロボロ代表取締役 古川 康造 高松丸亀町商店街振興組合理事長 田鍋 剛 高知市議会議長
16:40	次期開催地挨拶
16:50	次期開催地挨拶終了
18:00	第3部 意見交換会 [セッション形式(仮)]
19:00	意見交換会終了

■第2日目 10月31日◎

8:30	開場
9:00	第4部 課題討議 議会活性化のための船中八策(仮) コーディネーター 坪井ゆづる 朝日新聞論説委員 3~4市(予定)
11:00	閉会式
11:30	第5部 視察

基調講演



中島 岳志 なかじま たけし
東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授
1975年大阪生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。学術博士(地域研究)。2005年「中村屋のボース」で、大仏次郎論壇賞、アジア太平洋賞大賞を受賞。北海道大学大学院准教授を経て、現在、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授。著書に「ナショナリズムと宗教」、「秋葉原事件」、「リベラル保守」宣言、「血盟団事件」、「岩波茂雄」、「アジア主義」、「親鸞と日本主義」、「保守と立憲」、「超国家主義」、「自民党」などがある。

パネルディスカッション



坪井 ゆづる つばい ゆづる
朝日新聞論説委員
1958年奈良生まれ。82年、朝日新聞入社。長野、北海道で勤務し、90年に政治部員。自民党、社会党、自治省などを担当。アエラ編集、週末版beアスクを経て、2003年から論説委員(政治担当)。編集委員兼論説委員、読者編集部のち、12年から東北復興取材センター長、仙台総局長。16年に読者委員に戻る。18年から月刊「面くらぶ」(響子)担当。社外では、京都大学法学部客員教授(08年から10年)、現在は日本記者クラブ企画委員、日本自治学協会理事・企画委員長、NPO法人スローライフジャパン理事。



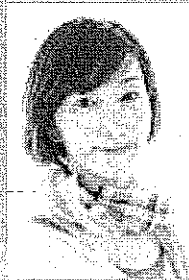
古川 康造 ふるかわ こうぞう
高松丸亀町商店街振興組合理事長
1957年香川県高松市丸亀町生まれ。立命館大学経営学部卒業後、高松青年会議所理事長などを経て、現職。少子高齢化社会に対応した新しい形の地方自治組織の創設を目指して、中心市街地再生に日々、精力的に取り組んでいる。内閣府地域活性化推進部、内閣府「中心市街地活性化推進委員会」委員、国土交通省UR都市再生機構アドバイザー等、公職多数。平成19年5月には、都市計画に独創的な業績を挙げた個人、団体に贈られる日本都市計画学会最高位の学会賞である石川賞を受賞。



高部 正男 たかべ まさお
市町村職員中央研修所学長
1950年山梨県生まれ。東京大学法学部卒。1974年自治省入省。静岡、富山、香川の各地方に勤務。総務省自治行政局長、選挙部長等として、地方自治制度や選挙制度の企画立案に従事。2013年から3年間、全国都道府県議会議長会事務総長として、地方議会の機能強化や議員年金の問題に取り組む。現在全国市町村共同の中央研修機関である市町村職員中央研修所(通称「市町村アカデミー」)の学長として、市町村職員に専門性の高い研修を行い、地域を支える人材の養成に尽力。市町村議会議員や市町村長を対象とする特別セミナーも実施。



田鍋 剛 たなべ つよし
高知市議会議長
1960年高知県高岡郡佐川町生まれ。高知短期大学卒業。高知市議員。高知市労働委員長を経て2007年5月から高知市議会議員を務め、現在4期目。その間、建設常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長、厚生常任委員会委員長、監査委員を歴任。15年5月から16年6月まで副議長を務め、19年5月に第14代高知市議会議長に就任。「議会は政策議論の場であると同時に、議決をするという意味では政策決定の場でもある。首長と並んで執行の一翼を担う機関といえる」を信条に議長として、市民生活第一に、市民目線の議会改革にも積極的に取り組んでいる。



横田 響子 よこたきょうこ
株式会社コロボロ代表取締役/お茶の水女子大学 客員准教授
1976年生まれ。お茶の水女子大学卒業後、1999年株式会社リクルード入社。営業・新規事業および事業企画を経験後、2005年株式会社コロボロ設立。現在代表取締役。女性社長.net(会員約2500名)、「1300」など女性社長を応援する企画に注力。Perbes Japan「未来を創る日本の女性」フォーラムが選ぶ10人等選出。
男女共同参画東京方針専門調査会、総務省自治体戦略2040構想研究会、第32次地方制度調査会、財務省財政制度等審議会など男女共同参画、行財政改革から地方自治分野まで多数委員を歴任。著「女性社長が日本を救う!」(マガジンハウス発行)

課題討議

コーディネーター
坪井 ゆづる つばい ゆづる
朝日新聞論説委員
3~4市(予定)

*講師・登壇者は変更になる可能性があります。